



海外規格対応CCT試験

サイクル移行時の温湿度の勾配制御が必要な、VDA233-102、VW96380に規定される複合サイクル試験が可能です。

海外規格対応 複合サイクル試験(CCT)装置

複合サイクル試験(CCT)においては、部品調達のグローバル化などにより、海外規格条件での試験の要求が増えてます。

ドイツ自動車工業会(Verband der Automobilindustrie)の新しい腐食促進試験法(VDA233-102)やフォルクスワーゲン社のVW96380は、実環境に近いサイクル条件が規定されており、従来のCCT装置では対応ができませんでした。

当社は、サイクル移行時の温湿度の勾配制御が必要な海外規格に対応した複合サイクル試験が可能です。



海外規格対応CCT装置

国内規格のサイクル条件

代表的な国内の規格として、JASO M609-91・M610やJIS H 8502に規定される図1に示すサイクルがあります。特徴として、各条件の移行時間が決められ、その時間内に次のサイクル条件に到達すれば良いというものです。また、1サイクルが数時間～24時間のサイクル条件がほとんどです。

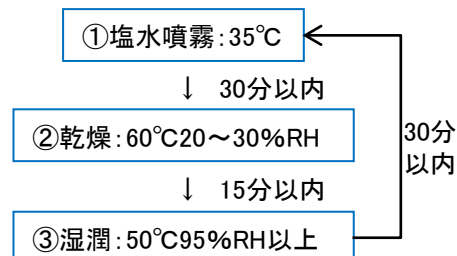


図1 JASO M609-91・610試験条件

海外規格のサイクル条件

一方、VDA233-102やVW96380は、温湿度を制御しながら移行(傾斜移行)する事が定められており、制御機能を有する専用のCCT試験装置が必要です。

図2にVDA233-102規格の腐食試験サイクルを示します。A、B、Cという24時間の基本サイクルを組み合わせ、1サイクルが1週間になります。

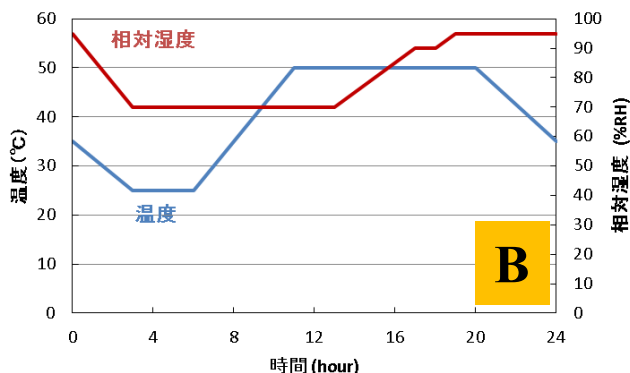
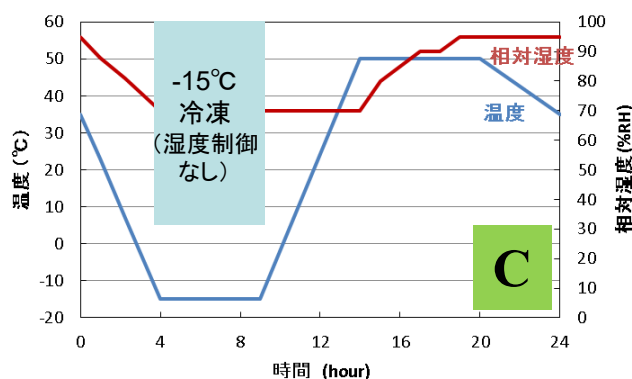
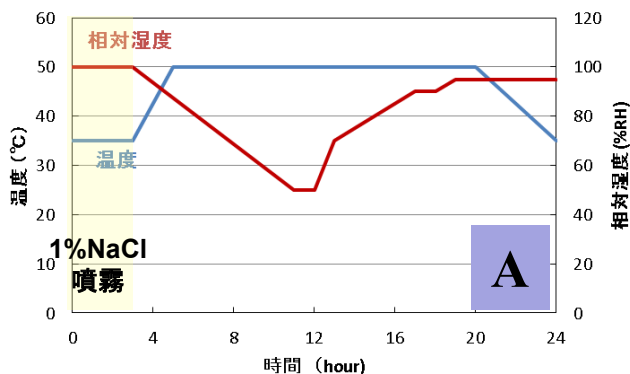


図2 VDA233-102規格のサイクルパターン
(各1日の内容は各図)



JFE テクノリサーチ 株式会社

<https://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2018 - 2025 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。

